

都市条例を道内で唯一施行するまちとして、その象徴となるような平和の鐘の設置に向け準備を進めてまいります。

## 2 健全な行財政運営の推進

財政運営につきましては、コロナ禍後の経済再生の動向や物価高騰などによる影響が見通せない難しい状況にありますが、財政運営持続化計画に定める4つの財政秩序を踏まえ、持続可能で安定した財政運営に努めることにより、様々な行政課題や市民ニーズに応えてまいります。

行政改革につきましては、この1年を行政創生プランの仕上げの年と位置付け、AIを含むICTの活用による市民サービスの向上・業務効率化をはじめ、民間活力の活用など、それぞれの取組を加速してまいります。さらには、健全な行財政運営に向け、時代の変化を的確に捉えた新たな行政改革プランの策定作業を進めてまいります。

また、自治体情報システムの標準化・共通化に向け、令和7年1月稼働を目的に取組を進め、コスト削減と事務の効率化を図り、事務手続きの簡略化など市民サービスの向上につなげてまいります。

さらに、マイナンバーカードに係る電子証明書更新等の業務を市内郵便局5局に委託し、関連手続きの利便性向上を図ってまいります。

行政組織の活性化につきましては、社会情勢の変化を的確に捉えた組織機構の見直しを行うとともに、限りある人的資源を有効に活用した機能的な組織体制の構築と適正な定員管理に努め、新たな行政課題に対して迅速かつ柔軟に対応してまいります。

また、職員の人材育成に向け、実践を重視した現在の階層別研修を継続し、自立型人材の育成を推し進めるとともに、人事評価制度や人事管理手法について、より効果的・効率的な運用方法を検討してまいります。

さらに、働き方改革と健康経営を一体的に推進し、職員一人ひとりが心身ともに健康で個性や能力を最大限に発揮できるウェルビーイング経営を目指してまいります。

広域連携の推進につきましては、東胆振4町と締結している定住自立圏形成協定のもと、新たな定住自立圏共生ビジョンを策定し、圏域としての生活機能の維持・発展に向けた取組を推進してまいります。

## 重点施策

### 1 子育て世代に手厚いまちとまこまいの実現

市政の最重要課題の一つとして取組を進めている“子育て世代に手厚いまちとまこまい”の実

現に向けて、4つの施策を軸に取組を加速してまいります。

1つ目は、本年8月から子どもの医療費助成制度を拡充します。国の方向性を踏まえ、優先度の高い施策と位置付け、助成対象については小学生から高校生に当たる12学年分を一気に拡充するとともに、所得制限を設けず、全ての子どもに通院及び入院に対して助成を行う子育て支援医療費助成制度を構築してまいります。

2つ目に、3歳以上の教育・保育施設における副食費の無償化の対象を第2子目までに拡充します。

3つ目は、産婦健康診査の助成回数を増やすほか、産後ケア事業の利用負担の軽減や事業内容などの拡充を図ります。

さらに、プラス1の新たな施策として、新中学生を対象に進学時の必需品である指定制服等の購入を支援する制度を創設します。

これら3つの施策の拡充と新たな制度の展開により、子育て世代の負担軽減を図ってまいります。

また、健康こども部にこども家庭支援室を新設することにより、全ての妊産婦や子育て世帯、子どもに対して母子保健と児童福祉の一体的な相談支援を行う体制を強化してまいります。

さらに、認定こども園の施設整備を進め、待機児童が発生している3歳未満児の受皿を拡大するほか、熱中症対策として市内の教育・保育施設及び放課後児童クラブに冷房設備を設置するなど環境の整備を図ってまいります。

### 2 ゼロカーボンシティの実現と産業競争力の強化

ゼロカーボンシティの実現に向けましては、環境衛生部にゼロカーボン推進室を新設し、全庁一丸となって取組を強化してまいります。

取組の大きな柱の一つとして、申請を重ね選定に至った脱炭素先行地域の計画がスタートします。産業部門のゼロカーボン化を民生部門に波及させ、地域課題の解決に向けたモデル事業となるよう、着実に取組を進めてまいります。

また、再生可能エネルギーの適正な導入を目的とした条例やガイドラインを策定し、生活環境や自然環境との調和に向けた整備を促進してまいります。

民生部門の取組としては、ZEHや省エネ・再生エネルギーの導入に対する支援を継続するほか、2年目となる“ゼロカーボン×ゼロごみ大作戦!”の各種イベントや出前講座などを通じて、まちぐるみでゼロカーボンシティの実現に取り組む機運を醸成してまいります。

さらには、市有施設における照明のLED化や太陽光発電の導入に率先して取り組むほか、昨年、試験的に導入した電気自動車とソーラーカーポートの寒冷地における運用を継続するなど、

ゼロカーボンの取組を効果的に啓発し、市民に普及するよう努めてまいります。

企業立地の促進につきましては、苫東地域をはじめとした広大な産業用地、物流の利便性、冷涼で安定した気候などをPRし、ものづくり産業や物流関連産業の更なる集積を図るとともに、本市への進出が決定した大規模データセンターなどのデジタル関連産業や半導体関連産業の誘致に積極的に取り組んでまいります。

また、本市において既に検討が進んでいる先進的CCS事業や、再生可能エネルギーの導入促進、水素など次世代エネルギー拠点の形成、カーボンリサイクルなどの取組を地元企業と連携して進め、ゼロカーボンシティの実現を目指すとともに産業競争力の強化に取り組んでまいります。

### 3 都市再生コンセプトプランの具現化

まちの魅力を創造する上で必須となる都市再生コンセプトプランの具現化に向けましては、目標としている交流人口の増加を目指し、苫小牧駅周辺ビジョンに示す都市機能の導入を促進するとともに、旧サンプラザビルの対応を含めた駅前再整備に向け、JR北海道との合意事項を踏まえた具体的な取組を進めてまいります。

また、市内に点在する魅力資源を活用し、来訪を促進する事業を展開することにより、まちなかのにぎわいを創出するほか、産業拠点都市としての特徴をいかしたMICEの誘致に取り組んでまいります。

スマートシティの推進に向けましては、苫小牧市スマートシティ官民連携協議会と連携し、医療や交通など様々な分野においてデジタル技術等の活用を図ることにより、地域課題の解決や市民生活の質の向上、行政手続きの効率化に取り組んでまいります。

また、とまこまい版MaaS構想の策定を進め、利便性と質の高い将来の交通サービスの実現を目指すとともに、昨年実施した自動運転バスの実証運行に引き続き取り組んでまいります。

## 主要施策

- (1) 共に支え合い健やかに暮らすまち
- (2) 明日を拓く力みなぎる産業のまち
- (3) 学ぶ喜びがあふれる文化の薫るまち
- (4) 自然と環境にやさしいまち
- (5) 安全・安心で快適に暮らすまち

掲載内容は要約です。  
全文は市役所2階市民情報コーナー、各出張所、市HPでご覧いただけます。



▲全文はこちら